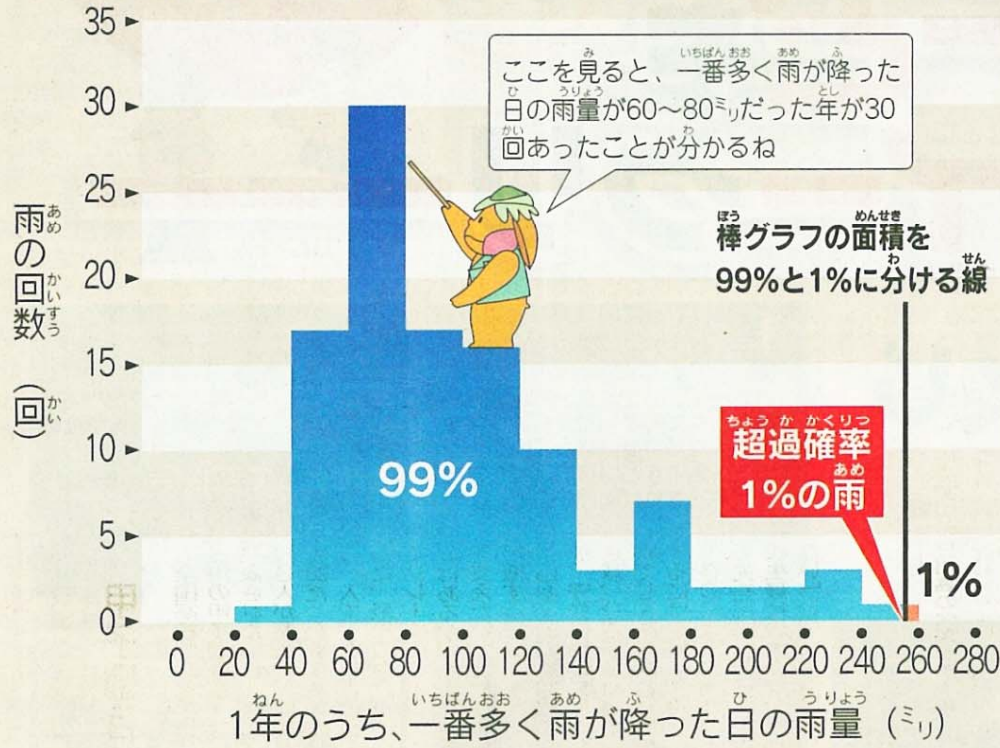


# 1901年から2009年の甲府市の雨の記録

下の棒グラフは、甲府市の1901～2009年(109年分)の雨の記録です。1年間が一番たくさん雨が降った日の雨量をそれぞれ抜き出し、その雨量の年が何回あったかをまとめました。



ね。超過とは、「超える」という意味です。

例えば、千人の小学生が同じテストを受けて、95点以上の人が10人いたとします。千人のうちの10人ですから、1%です。1%の人だけが95点を越えたので、超過確率が1%の点数は95点ということになります。

雨の場合も同じように考えます。まず、過去の強い雨のデータを集めてきます。例えば去年の一番強かった雨、その前の年の一番強かった雨、さらにその前の年の一番強かった雨、といった具合です。そして、集めてきた雨のうち、一番強い雨から順に数えて、全体の数の1%となるところの雨の値を求めます。これが、超過確率1%の雨です(実際にはもう少し複雑な計算をして求めています)。

超過確率が1%の雨より強い雨が降る可能性は、毎年1%あります。去年、100年に1度の雨が降ったから、今年も絶対大丈夫、とは言えないのです。今年もまた1%の確率でそんな強い雨が降るかもしれないのです。

(山梨大学大学院医学工学総合研究部 市川温)



世の中には不思議で分かりづらいことがたくさんあります。自然、科学、歴史など、詳しい先生に解き明かしてもらいましょう。

## 毎年可能性がある!? 「100年に1度の雨」

皆さんは、「100年に1度の雨」という言葉を聞いたことがありますか？

100年に1度くらいしか降らないようなとても強い雨、という意味でよく使われています。ただ、この言葉は、誤解を招きやすい言葉でもあります。

**1%の確率**

100年に1度の雨は、本当に100年に1度しか降らないわけではありません。100年に1度の雨を正しく言うと、「超過確率が100分の1(1%)の雨」ということになります。ちょっと難しい言葉です。

ね。超過とは、「超える」という意味です。

例えば、千人の小学生が同じテストを受けて、95点以上の人が10人いたとします。千人のうちの10人ですから、1%です。1%の人だけが95点を越えたので、超過確率が1%の点数は95点ということになります。

雨の場合も同じように考えます。まず、過去の強い雨のデータを集めてきます。例えば去年の一番強かった雨、その前の年の一番強かった雨、さらにその前の年の一番強かった雨、といった具合です。そして、集めてきた雨のうち、一番強い雨から順に数えて、全体の数の1%となるところの雨の値を求めます。これが、超過確率1%の雨です(実際にはもう少し複雑な計算をして求めています)。

超過確率が1%の雨より強い雨が降る可能性は、毎年1%あります。去年、100年に1度の雨が降ったから、今年も絶対大丈夫、とは言えないのです。今年もまた1%の確率でそんな強い雨が降るかもしれないのです。

油断はダメ

甲府市では、1時間に68ミリの雨や1日に255.5ミリの雨が超過確率1%の雨と計算されています。思ったより多いですか？ 少ないですか？ これらの雨は、かなり強い雨です。実際にはこれより弱い雨でも、川の水があふれたり、山の斜面が崩れたりすることもあります。そんな時は、なるべく早く安全な所に避難するか、外が水浸しで避難するのが難しければ、家の2階など少しでも水の来ない所にいるようにしましょう。